

平成30年度 第8回

日南市教育委員会

会議録

平成30年10月30日(火) 午後3時から
日南市役所・別館2階会議室

1 会議の名称 平成 30 年度教育委員会 第 8 回会議（定例）

2 会議日時 平成 30 年 10 月 30 日(火)
午後 3 時から午後 4 時 30 分まで

3 出欠確認

(1) 出席委員 黒木康英 迫元茂保 郷谷純一
崎村洋子 坂元由香

(2) 事務局 教育部長兼学校教育課長
生涯学習課長
学校教育課学校教育担当監
学校教育課長補佐兼管理係長
学校教育課管理係主査

4 場所 日南市役所・別館 2 階会議室

5 傍聴者 3 名

6 開会

【黒木教育長】

「それでは、ただいまから平成 30 年度第 8 回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」

7 出席者及び傍聴者確認

【黒木教育長】

「出席者の確認をいたします。教育委員 5 名全員出席でございます。それでは事務局の方出席者の確認をお願いします。」

【倉元部長】

「事務局は全員出席です。」

【黒木教育長】

「本日は傍聴、ありがとうございます。」

8 活動報告

(1) 教育長活動報告

【黒木教育長】 ※ 資料により、活動内容を報告

それでは、9月26日から本日までの教育長の活動で、主だったものを報告させていただきます。

・まず、9月26日の今年度第1回目、「日南市いじめ防止対策委員会」は、臨床心理士の徳田由香さんが任期により退任され、新委員に愛泉会日南病院相談支援専門委員、原田奈美恵さんを迎え、開催されました。日南市の不登校の現状やいじめアンケート結果に基づく現状を指導主事が説明し、なかなか解決が難しい引きこもりの児童生徒の実態について、それぞれの立場から解決の糸口を協議しました。このような問題は、今後増加の傾向にあり、保護者との連携も、ますます難しくなることが予想されます。

・9月27日の「日南市生涯学習推進会議」では、29年度の生涯学習推進事業、学校と地域の連携・協働の取組、その他関係事業の実績報告及び30年度の実施状況が事務局より説明され、承認されました。第5号議案として提案された、今後の生涯学習推進事業、その中で生涯学習推進大会の開催そのものについて、考える時期に来ているとの意見で一致し、今後その方向で検討する事になりました。

・同日の「北郷小中学校シンガポール派遣市長報告会」は、校長と生徒8名が、8月2日から10日までの交流プログラムの成果を報告しました。どの生徒の顔にも、この事業で得た貴重な経験が自信となっている様子が伺えました。

・同日のプロジェクト会議では、まず、9月16日に実施された各小中学校の体育大会時の、熱中症等による救急処置の実態について報告しました。その日の総出席者数にしろ、何らかの理由で救急処置された児童生徒の割合は、9.7%で、36名が熱中症の症状、1名が救急車で搬送されるといった状態でした。現在、小中学校長会で協議をすすめ、次年度10月開催がほぼ固まりました。また、諸表簿点検訪問の総括について、学力向上対策について協議がなされました。その他、学校経営案の作成にあたって、内容及び整合性等十分吟味し作成するように指示をしたところです。

・この間、学校支援訪問が10校入っています。委員の皆さんもそれぞれ感想をお持ちのことと思います。私が特に印象に残ったのは、南郷中学校でした。生徒の態度に見る学校の変わり様、「いいとこめがね」での保護者の意見が、とても印象的でした。後で、皆さんの意見もお聞かせください。

・10月1日、かつお一本釣り漁業遺産認定推進協議会臨時総会が開かれました。残念ながら、「世界及び日本農業遺産一次審査（書類）」の通過は出来ませんでしたが、引き続き31年度認定に向けて取り組むことが決まりました。

同日、日南地区学校発明工夫展表彰式が行われました。今年度は、市内9校が150作品を応募し、10点が表彰を受けました。教師や保護者による児童生徒への働きかけが作品制作の意欲に繋がることを考えると、学校は十分情報を発信しているのか疑問を感じることもあります。

・10月2～3日、台風で延期されていた小学校の運動会が行われました。小学校の運動会では救急搬送等はなかったと聞いています。

・10月5日、市校長会を開きました。内容は、プロジェクト会議で協議された内容を周知徹底するものです。また、学校検診情報のデータベース化とその利活用、台風25号による災害への対応について説明しました。

同日、中部教育事務所管内の県教育長会議が開かれ、今年度末の人事異動方針について説明がありました。

・10月9日、この日、えびの市教育委員会から、学校支援センターの視察があり、不登校等解消に取り組む支援センターの事業について担当指導主事が説明しました。

・10月10～12日、九州都市教育長協議会研究大会が大分県別府市で開催されました。私は、発表者として参加し、主に、学校支援地域本部事業と次世代育成事業の取組を紹介しました。早速、佐賀県鳥栖市から視察受け入れの要請があり、学校支援地域本部事業について、11月20日、南郷小学校関係者にも出席していただき、説明します。

・10月18日、南郷中学校の湯川教諭が教育研究所での研究内容に即して、検証授業をしました。私は、元数学の教諭という気持ちで参加したのですが、若い人の中で久々に授業の中身に深く突っ込んで話が出来、新鮮な気持ちになりました。

・10月25日は、県市町村教育委員会連合会研究大会が開催されました。皆さんも参加されそれぞれ感想をお持ちと思いますが、椎葉村の甲斐教育長の話は、椎葉村の歴史が持った村の魅力をうまく活用し、教育委員会として充実した取組に繋げていることが印象的でした。皆さんの感想もお聞かせください。

・10月27日は、くろしお支援学校の日南陽祭の参観をし、その後算数エンタを参観しました。支援学校の先生方のできばきとした動きには感心しましたし、それに応える子ども達の演技に大きな拍手をおくりました。算数エンタにおける大学生の教材は更に工夫がされ、児童は夢中で問題に挑戦していました。

・10月28日は、合併10周年記念北郷大運動会、南郷ハートフルまつりに参加しました。北郷、南郷共に大盛り上がりで、秋の地域行事を楽しんでおられたのが印象的でした。

・そして本日です。先ほどは教育委員の研修会として、担当指導主事から学力向上の市の取組について説明を受けました。

以上で報告を終わります。

(2) 委員活動報告

【坂元委員】

25日の研究大会の小林地区の食育の取組がとても印象的でした。学力向上に焦点をあてられるところは多いですが、食というのは印象的でした。

【黒木教育長】

日南市も、肥満対策をたてて全学校で取組んでいます。学校上げての取組みや個別指導などは、充実していると思います。保護者が学校や教育委員会の取組を理解して、肥満の予防や虫歯の予防に取り組む体制ができているかといのは、まだまだ不十分だと思いますので、取組みの充実は必要ではないかと思いました。

【郷谷委員】

学校訪問につきましては、何校か回らせていただきましたが、特に学校訪問の資料を1週間前に届けていただいて、訪問するまでに資料に目を通す時間がありますので、質問する内容をまとめることもできて良かったと思います。

どこの学校も、子ども達のために創意工夫をされていて、先生方が頑張っておられる様子が分かりましたので、良かったと思います。

【崎村委員】

私も、学校訪問をして油津小学校の資料がとても細かく、丁寧に作ってあったなと思いました。町の中の学校ですので、榎原小、中学校と南郷小、中学校に行った時に、その地域で心配されていることが、学校で地域性が出たなと思いました。

【迫元委員】

運動会は、日曜日が雨でしたので、私は酒谷小と細田小に行きましたが、酒谷小は少ない人数でしたが、地域の方とか市内のレクレーション団体の方々が参加して、みんなで盛り上げて行われていました。子ども一人一人が主役になっていました。

細田小は、午前中で終わるように特別のプログラムを組んで、子どもが中心の運動会でした。普段でしたらPTAの方々も出られると思いますが、午前中で終わるということで裏方を頑張っておられました。

学校訪問については、今年からは新たな方法でされていますが、どこの学校もいい方に変ってきていると思います。それぞれの学校が努力されているなど実感しています。

【黒木教育長】

学校訪問の私達の役割は、直接校長、教頭、担当者と話をして、それなりに学校側の考えていることを聞きだす。そして、私達が学校にお願いしたいこと伝えたいことを、しっかり伝えていくという役割で進めています。

9 前回の議事録承認

第7回の議事録について了承

10 議題について

協議1 学力向上の現状と対策について

(西川指導主事)	学力向上の現状と対策について説明。
(黒木教育長)	何か質問は、ありませんか。
(迫元委員)	児童・生徒の質問紙の中で、回答時間が足りないと感じている児童・生徒が多いというのがありましたが、先ほどのお話でもありましたが、時間を意識しながら活動するということと、全体を見て、どれくらいかかるかを見て、部分に戻るのも大切かなと思います。見通しをもって事にあたるというのも、普段からやっていくといいのかなと感じました。
(黒木教育長)	日南チャレンジというのをやっていますが、全国学力テストやみやぎ学力テストの内容は、教科書をやっていればできるという問題ではないです。そのテストに慣れていないとできない問題です。普通の授業ではほとんど解いたりしない問題なので、子どもたちは戸惑って、最後までいかないのです。 ものすごく長い文章を読ませるので、途中で混乱して、最後までいかないのです。
(崎村委員)	全国学力テストの県のレベルを上げるため、問題集に慣れさせて、テストをさせるというのが何年か前にどこかでありましたけど、それは違うのではないかなと思います。
(黒木教育長)	同じ問題が出るわけではないので、問題を見慣れるというのが、慣れていると取り組みやすい。慣れていないと、全く解く気もしないという問題です。 点数がどうのこうのというよりも、子ども達が、読み込む問題が自分が頭の中で整理ができて解けるようになるという能力・力が現在求められるというか、これからの将来社会に求められているというような捉え方をして、そういう力を身に付けさせるということで取り組まなければならないと思います。点数を上げるためだけではないです。 そのためには、新聞や本を読まなくてはならないので、私達は、新聞を読むことや読書をすすめています。

(崎村委員)	今家庭によっては、新聞をとっていない家庭もあって、ニュースはインターネットで見れたりするので、新聞を読む機会が少ないと思います。
(土持担当監)	例えば南郷中学校では、新聞が玄関に置いてあります。校長先生をはじめとする職員が、前日の新聞を持って来て、それを1週間分くらい置いています。学校によっては、学年の廊下や学校図書館に置いたりしています。1日遅れの新聞ですが、記事や出来事に触れさせるということは大切だなと思います。そういうのをネタにして、自分の感想を書かせるという取組をしているところが多くなりました。
(黒木教育長)	これについては、よろしいですか。

協議2 平成30年度他市町村教育委員会との視察研修について

(和田補佐) (黒木教育長)	平成30年度他市町村教育委員会との視察研修について説明。 これについては、よろしいですか。
-------------------	--

1.1 報告

(1) 市議会定例会報告について（9月議会）

学校教育課分 倉元部長説明

生涯学習課分 影山課長説明

1.2 その他

(1) 11月行事予定について

(2) 第9回 教育委員会会議（定例）

① 日時 平成30年11月27日（火）、午後3時から

② 場所 北郷農村環境改善センターA会議室

1.3 閉会